

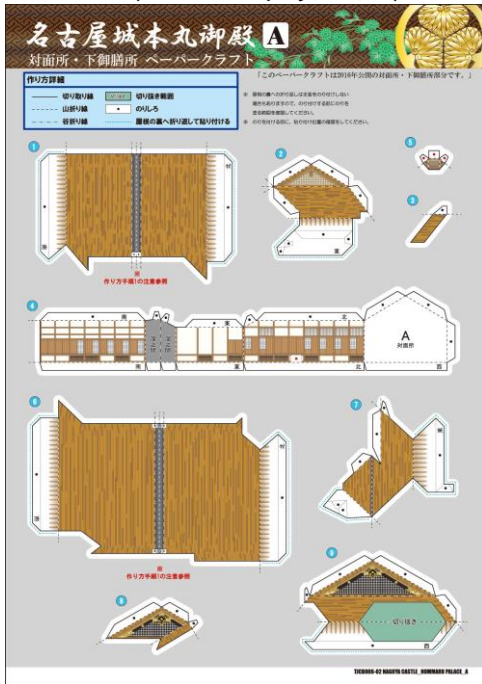
【切手デザイン】



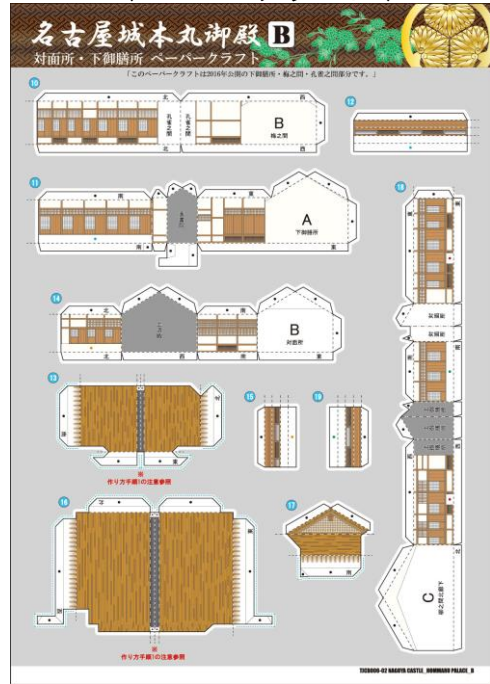
- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
- 写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

【本丸御殿ペーパークラフト】

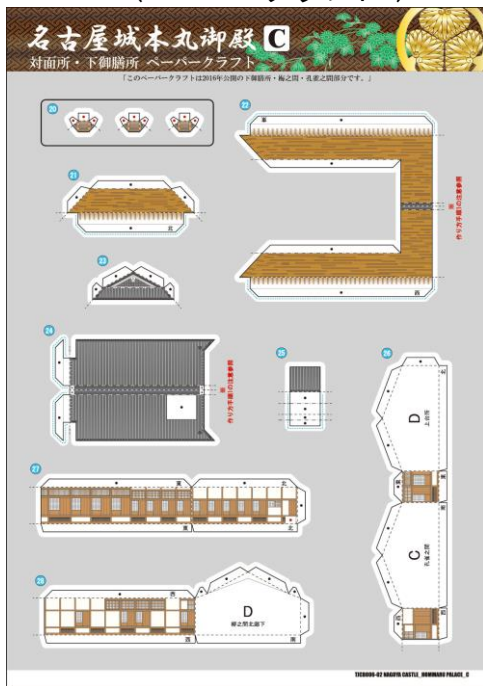
(ペーパークラフトA)



(ペーパークラフトB)



(ペーパークラフトC)



(組立図)



(台座)



【台紙】

名古屋城

復元 本丸御殿

対面所・下御膳所

公開記念

名古屋城本丸御殿は、徳川家康により慶長20年(1615)に創建されました。おしくも昭和20年(1945)に戦災で焼失しましたが、平成21年(2009)から名古屋市により復元が進められており、平成25年(2013)5月29日の玄關・表書院の公開に続き、対面所・下御膳所の公開が平成28年(2016)6月1日より、いよいよはじまります。

対面所は、藩主と身内などの内向きの対面や安席の場として使われました。南側の2室には四季の風物や名所、職人などの風俗が描かれており、表書院とは違った雰囲気の一部となっています。

1945年 ○ 本丸御殿焼失 (戦災)

2009年 ○ 復元工事着手 (平成21年)

2013年 ○ 玄關・表書院 (平成25年)

2016年 ○ 対面所・下御膳所 (平成28年6月1日)

○ 上兵衛堂 (徳川家康御用)

2018年 ○ 本丸御殿全棟公開 (平成30年)

平成28年6月1日公開開始 (2016年)

Nagoya Castle Honmaru Palace
徳川・名古屋城総合事務所

※「プレミアム切手」は日本郵政株式会社の特許商品です。

匠の技と優れた美術工芸が調和した傑作

Nagoya Castle Honmaru Palace

◎対面所

対面所は、藩主と身内や家臣の私的な対面や安席に用いられました。南に上段之間・次之間、北に納戸之間・二之間の4つの部屋があり、上段之間・次之間には、四季の風物や名所が多くの人物とともに描かれています。

本丸御殿 対面所 上段之間

▶ 風俗画 (表向) 対面所上段之間西側 美の歴史絵巻 (徳川家康)

対面所次之間の障壁画は初代藩主 義直の正室・春姫の歌舞和歌山を描いた可能性があり、高人の繪巻がこの対面所で行われたとも考えられています。

対面所 (徳川家康御用) 表書院 (中津より)

◎下御膳所

下御膳所 (徳川家康御用) 北御外縁

下御膳所は、長瀬伊重が築まられており、料理の配膳や温め直しのための建物だと考えられています。天井には煙出しがあります。

対面所上段之間 (徳川家康御用) 南西側

対面所次之間の天井は、より格式高い「前上げ」欄格天井で、上段之間については、中央部でさらに一段高くなった「二重前上げ」欄格天井になっています。また、天井の種とよばれる部材が堅漆塗となるほか、天井板には金指押がなされるなど、表書院よりも重厚かつ華やかな意匠となっています。

企画・デザイン/ Pine Global Inc. (PINEグローバル)